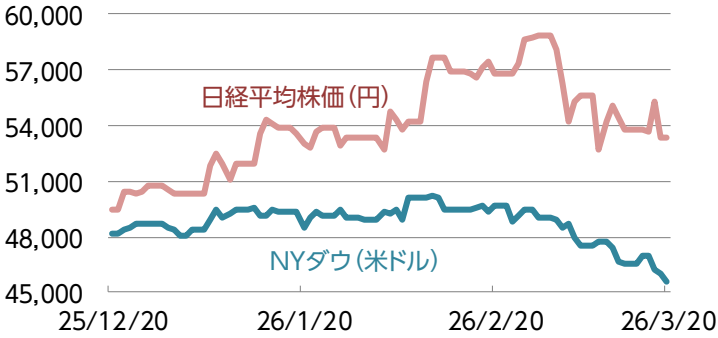


■先週の市場の動き

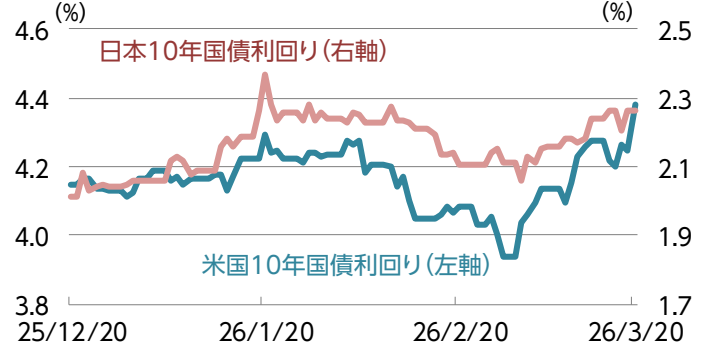
米国株式市場は続落。イランが中東産油国のエネルギー拠点などに攻撃を続けていると伝わったことに加え、週末にかけては、米国防総省が地上軍の投入に向けて準備をしていると報じられたことなどが嫌気された。また、FOMC（米連邦公開市場委員会）後の会見でパウエルFRB（米連邦準備理事会）議長が「（インフレ圧力が見通し通りに落ち着かなければ）利下げは行われまいだろう」と述べたことで、早期利下げ観測が後退したことも下落材料となった。

■株式市場



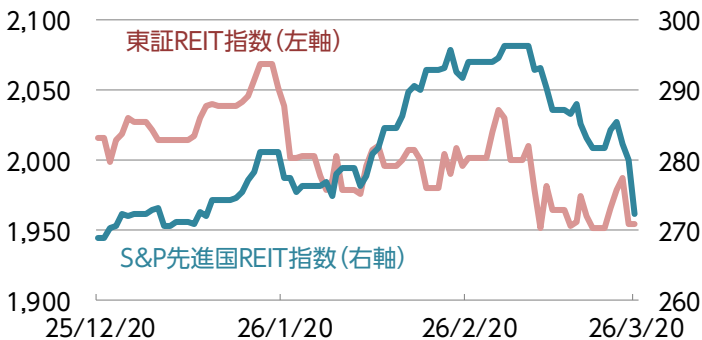
国内株は続落。ホルムズ海峡の航行再開期待から原油供給不安が後退した場面で、一時55,000円台を回復したものの、その後は米国の早期利下げ観測の後退などが嫌気された。

■債券市場



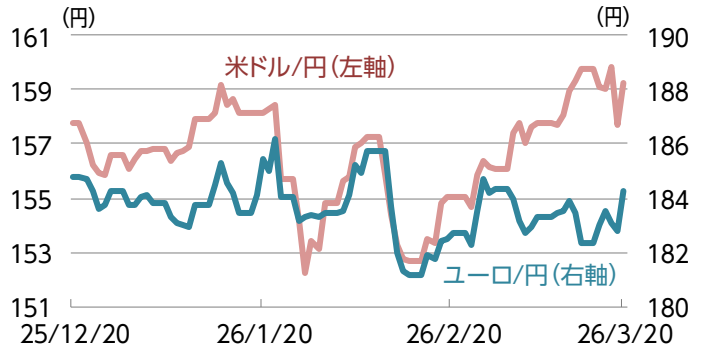
米10年国債利回りは上昇。原油価格の高止まりや、早期利下げへの慎重姿勢を示したパウエルFRB議長の記者会見が背景。日本の10年国債利回りも上昇。日銀が4月の利上げの可能性を否定しなかったことなどが金利上昇要因となった。

■REIT市場



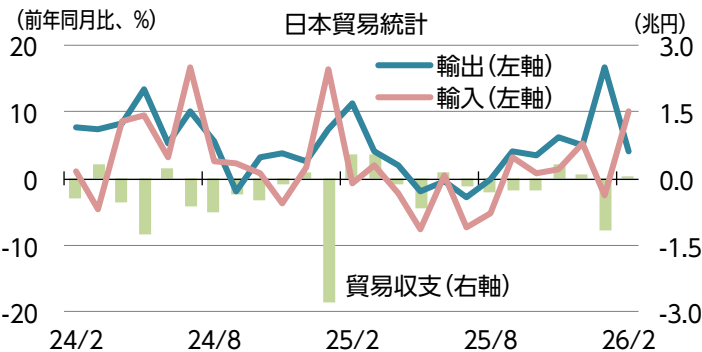
国内は小幅反発。下落が続いていたことから押し目買いが入りやすかったことに加え、国内経済は底堅いとの見方から都市部を中心にオフィス需要を期待した動きが優勢。海外は続落。

■為替市場(米ドル/円、ユーロ/円)



米ドル/円は下落。1ドル=160円の節目を前にした円買い介入への警戒感や、日銀が4月の利上げの可能性を否定しなかったことが円の下値を支えた。ユーロ/円は上昇。

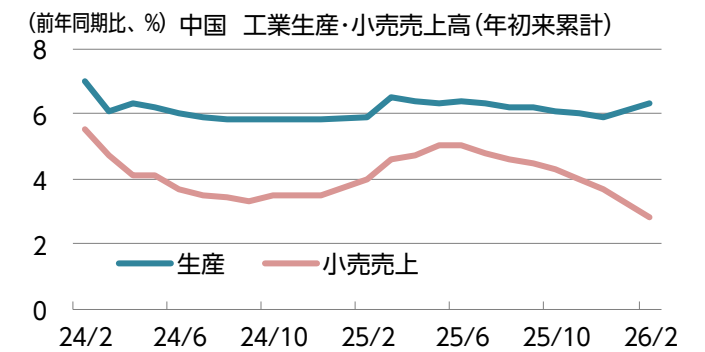
■経済指標グラフ



貿易収支は573億円の黒字。市場予想は4,600億円の赤字。輸出は前年同月比+4.2%の9兆5,716億円。対米は同▲8.0%の1兆7,529億円。対中は同▲10.9%の1兆3,696億円。輸入は同+10.2%の9兆5,143億円。

(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

■経済指標グラフ



工業生産(1-2月)は前年同期比+6.3%。12月(+5.2%)から伸びは拡大。市場予想(+5.3%)を上回る伸び。小売売上高は同+2.8%。12月(+0.9%)から伸びは拡大。市場予想は+2.5%。



#### 【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。